

いつもお世話になります。7月22日の皆既日食は国内で46年ぶり、しかも21世紀最大の継続時間だと大変な話題です。好条件であれば6分39秒の天体ショーを観るために世界中の人々が大枚をはたきました。7分にも満たない宇宙の神秘に。景気が低迷しているとはいえ、商売のヒントとチャンスは眠っていますね。

痛快! えだまめ君

画: (ま) ひろ計



何とか契約してください!!



契約する気はないので帰ってくださいませんか



とにかくサッサと帰ってくれえいっ



足がしびれて動けないんだって... だって... だって...

知って! 「税務の豆知識」

【相続対策は、“〇〇”ほど効果があります】

年収1000万円を超えている世帯は、近年増加傾向にあるようです。その反面、年収200万円以下の労働者も少なからず増加傾向にあり2006年には、なんと1000万人を突破したそうです。

「一億総中流」。日本国民の大多数が、自分を中流階級だと考えるこの意識も近年では薄れつつあります。格差社会の急激な拡大が、その原因のひとつつかもかもしれません。

さて、格差社会が拡大すると、さらに特定の人に「富」が集中するようになります。そのため「相続税」では、相続する場合に一部を税金として国に集めて「富」を再分配するという考えがあります。その相続税には、「5000万円+法定相続人の数×1000万円」という基礎控除があります。

例えば、夫婦と子供2人の4人家族で、ご主人が亡くなり法定相続人が奥様と子供2人の計3人となった場合には、基礎控除の額は8000万円となります。

従って、ご主人が残した財産の合計が8000万円を超えていれば、基本的には

相続税が発生することになります。また今後、格差社会が今以上に拡大していけば、税制も変わり、この基礎控除額も下がる可能性が十分に考えられます。「相続対策は、“早い”ほど効果があります」ので、できるだけ早めの対策を検討されるようお勧めします。



今月のあなたの運勢

鑑定: 妙慎

仕事にも遊びにも何かと多忙な一ヶ月になりそうです。焦らず一歩ずつ確実に処理をするように努めましょう。

新規計画を実行するのにとても良い月です。面倒な問題は、これまでの努力が実り、無事に片付きそうですよ。

一時的に好運な様子が伺えるものの、油断は絶対に禁物です。今後のさらなる発展を狙い向上心を忘れないで!

生活や健康への不安が増しても、急激な方向転換はNG。心を落ち着かせ、現状維持に徹すれば、吉となります。

365日 が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント:【超・顧客主義で「愛しあっていますか?」】

各方面でホスピタリティが盛んに叫ばれるようになりました。商売で大事なものは「おもてなしの心」というわけです。現代はサービス社会。どんな場面でも「お金を払うから代わりにやってね」で商売が成り立っています。とても分かりやすい構図ではありますが、いわゆる“顧客のニーズ”を満たせるかどうかの評価の分かれ目であれば、お金とサービスがイコールのレベルではちょっとありがたみに欠けます。



頭に「お金 < サービス」の図式が浮かんだとき、人は初めて「ありがたい」と思い、そこにおもてなしの心を感じるのです。人は、依怙鼻眞（えこひいき）に敏感で、不公平感を察知すると途端に文句を言い始めます。しかし、特に大事なお客様を特別に引き立てるのも商売です。もっと言えば、「自分は特別扱いされている」と相手に思わせるのも商売の知恵でしょう。

たった1泊のルームチャージが、サラリーマンの小遣いをはるかに上回るリッツカールトンに“あえて”泊まるのは、リッツの「感動するほどのホスピタリティ」を求めてのこと。「年会費は高いし、たいして使わないけど」と言いながらもアメックスを解約しない理由は、24時間対応のコンシェルジュ（チケットなどを手配してくれる）サービスが“使えるから”だとよく聞きます。今どき、お客様を愛する「顧客主義」は当たり前。リッツやアメックスが実践しているのは、お客様との相思相愛を目指す「超・顧客主義」でしょう。値引きや付け届けのような、表面的で一過性のサービスを提供するのがおもてなしではありません。

お客様と相思相愛になって愛しあうには「本当に助かるよ」と感謝してもらうことです。お客様の顔を一人ずつ思い浮かべ、相手の役に立つことを本気で考えてみましょう。景気が低迷しているこんなときだからこそ、おもてなしの心をベースとした「超・顧客主義」は、必ず商売のヒントになり得るだろうと思います。あなたは今、顔の奥に浮かんだお客様と「愛しあっていますか?」。



トレンドを斬る

ベランダや庭先で野菜やハーブを栽培する「フードニング」が静かな人気です。育てる楽しみに加え、数百円の苗から多くの

野菜を収穫し、食卓でも味わえることから節約術としても注目を集めています。手軽なハーブやミニトマトから始め、なすやレタス、かぼちゃなど収穫が本格的なプチ農業に挑戦する若い女性も増えてきました。食への安全意識が高まり、国を挙げて農業改革が進められている今、自給自足を実践するフードニングはその先駆けとも言えるでしょう。



今月のオススメ逸品



俺は、中小企業のおやじ

日本一売れている車「ワゴンR」を販売するスズキ株式会社。「死に金は一銭たりとも使わない」の精神で、業績を10倍にした鈴木会長。中小企業にも大いに役立つ1冊です。

【出版：日本経済新聞出版社】
【著者：鈴木修】

木永会計事務所
㈱ブレン・トラスト

〒861-8002

熊本市龍田町弓削 683-6

電話：096-337-3600 F A X：096-337-3601

<http://www.kinaga.co.jp/>